

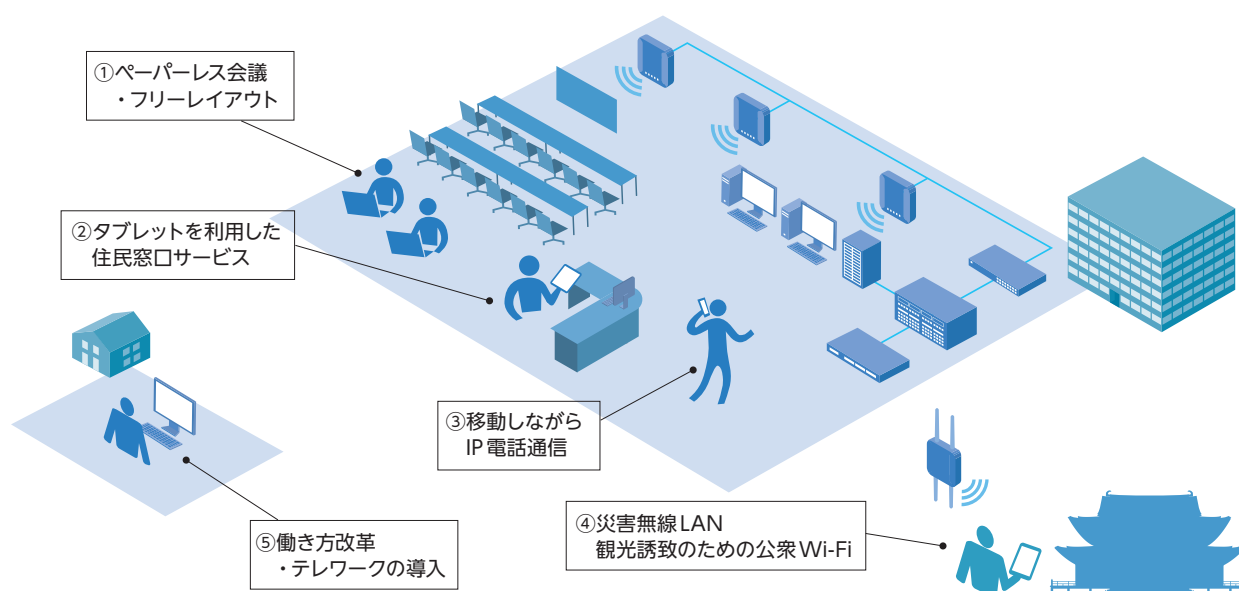
4 自治体

自治体での無線LAN

スマートフォンやタブレット端末の普及とともに無料インターネット接続サービスが一般化するなか、各自治体ではITインフラの中でも災害に強く、地域活性化のツールとしても有効な住民サービスや観光客の誘致を目的としたWi-Fi環境の整備を推進しています。

またペーパーレスや働き方改革の促進により庁舎内でのタブレットの利用やIP電話への移行なども増えていくことが予測され、自治体ネットワークにおいて無線LANの整備は必要不可欠となっています。

■無線LAN利用ケースと課題/解決策



① 無線LAN導入でペーパーレス会議やフリーレイアウトの導入

② タブレットを利用した住民窓口サービス

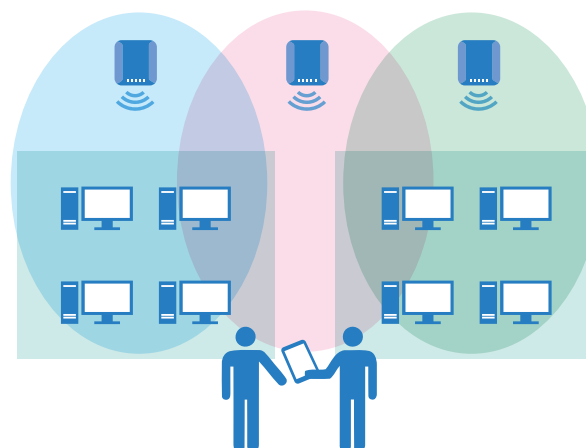
課題 インターネット、業務通信が遅い・途切れる

要件

- ▶ 快適に使える無線LAN
- ▶ 上下階や各フロアに設置した無線APの電波干渉回避

解決策

- ▶ AWCによる最適な電波調整



③ IP電話の導入で移動しながらも通話

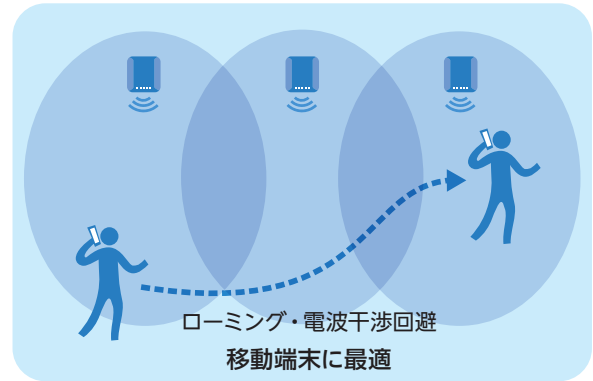
課題 移動しながらの通信が途切れる・繋がらない

要件

- ▶ ローミングレスで移動しながら通信しても途切れない
- ▶ 電波干渉回避

解決策

- ▶ AWC-CBによるローミングレス通信
- ▶ シングルチャンネル設計による電波干渉の回避



④ 災害対策にも対応した公衆無線LAN

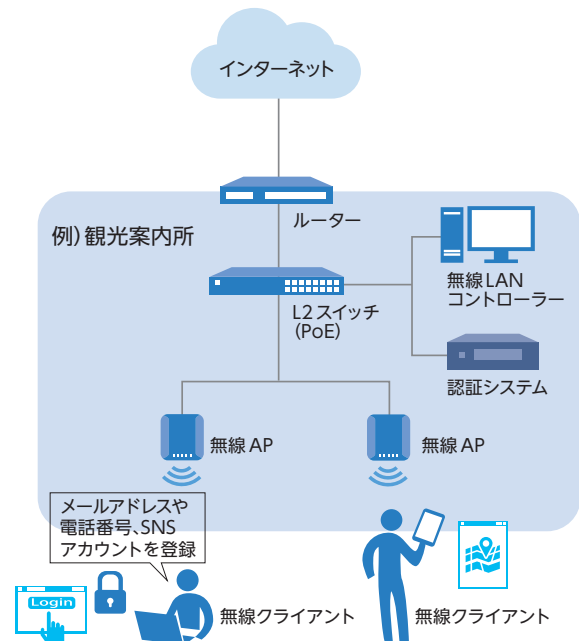
課題 簡単な認証の仕組みでの無線利用と災害時の無線開放

要件

- ▶ 災害発生時に簡単な手順にて公衆無線LAN環境の提供
- ▶ 不正利用時の対策とした認証
- ▶ 無線APの電波干渉回避

解決策

- ▶ 無線LANコントローラーから簡単な設定変更による災害時のネットワーク開放
- ▶ 認証システムとの連携で安全かつ簡単な認証提供
- ▶ AWCによる最適な電波調整



⑤ 働き方改革・テレワークの導入

課題 出先や自宅からの安全なリモートアクセス通信

要件

- ▶ 不正アクセスを防止した通信経路の確保
- ▶ 持ち出しタブレットでの安全な通信

解決策

- ▶ VPNによるセキュアなアクセス

